

様式 A-1  
(FY2022)

2022年 12月 27日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 千葉県立薬園台高等学校 教諭 古賀直子
2. 講師氏名: Dr. Martin Wekesa SIFUNA (Mr.) (千葉大学・大学院工学研究院)
3. 講義補助者氏名: 横山大和さん (千葉大学修士2年)
4. 実施日時: 2022年 12月 23日 (金) 13:00 ~ 14:00
5. 参加生徒: 3年生 9人、 2年生 2人、 1年生 7人 (合計 17人)  
備考: (普通科生徒15人、園芸科生徒2人)
6. 講義題目: Malaria diagnosis
7. 講義概要: マラリアは世界的に大きな健康上の負担となっている。2020年には、約2億2900万人の患者が発生。50万人以上のマラリア関連死が報告されている。その大半は資源に乏しいサハラ以南のアフリカである。RTS,S ワクチンの有効性は約50%に過ぎない。そのため、化学療法がマラリア対策の主軸となっている。WHOは、資源に乏しい環境での診断に適したツールを決定するために、価格、感度、特異性、使いやすさ、堅牢性、迅速性、機器不要性、送達性(ASSURED)を基準として設定している。
8. 講義形式:  
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)
  - 1) 講義時間 60分 質疑応答時間 0分
  - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講義
  - 3) 事前学習  
有 ・ 無 (どちらか選択ください。)  
使用教材 プリント
9. その他特筆すべき事項:  
特になし。